

基本方針 2	情報通信技術の進展に対応した図書館サービスの提供を図るため、電子図書館化を推進する。									
重点目標 2	ICT を活用した図書館サービスの推進									
重点取組	電子的な情報サービスの整備と利用の促進									
評価指標	図書館ウェブサイトアクセス数（ウェブサイト全ページ（検索系を除く））									
	27 年度末	28 年度末	29 年度末	30 年度末						
目標値	—	1,160,000 件	1,310,000 件	1,330,000 件						
実績値	673,813 件(9~3 月)	1,289,094 件	1,268,975 件	1,197,574 件						
重点取組の評価	平成 30 年度末の図書館ウェブサイトアクセス数は、1,197,574 件と目標値の 90.0%（前年度実績比 10 ポイント減）であった。図書館システムの更新に伴う休館とデジタル画像及び埼玉関係データベースの公開（3 月）までは目立ったウェブサービスの展開がないことが要因と思われる。データベースの利用件数は 3,152 件で前年度実績比 1.7 ポイント増であった。満足度はウェブサイトの改修があったため、アンケートを実施せず不明。			<table border="1"> <tr> <td>28 年度</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>29 年度</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>30 年度</td> <td>3</td> </tr> </table> <p>4：目標に達している                      3：目標の 80%に達している                      2：目標に至っていないが、一定の進捗が見られる                      1：目標達成に向けた進捗が見られない</p>	28 年度	4	29 年度	3	30 年度	3
28 年度	4									
29 年度	3									
30 年度	3									
行動計画実施状況・成果	<p>1 地域・行政資料等のデジタル化の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・貴重書庫資料及び古写真のデジタル化について、事業委託のための仕様書を作成した。次年度以降もデジタル化に向けた取り組みを計画的に行っていく。</li> <li>・デジタル画像をウェブOPACにより検索・閲覧できるようにした(3月6日)。</li> <li>・デジタル化資料の利用申請件数は27件であった。</li> </ul> <p>2 埼玉関係データベースの整備と公開方法の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・埼玉関係雑誌記事索引データ1,146件、埼玉関係人物文献索引データ572件を入力した。</li> <li>・館内OPAC及びウェブOPACにデータベースを公開した(3月5日)。</li> </ul> <p>3 埼玉県に関する貴重な映像・音声資料の保存・利用の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「埼玉の民謡第1次調査 北葛飾地方」等のカセットテープについて、事業委託のための準備を行った。次年度以降も仕様書を作成する等デジタル化に向けた取り組みを継続的に行っていく。</li> </ul> <p>4 データベースの利用促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・データベース関連広報紙（チラシ）を改訂し配布した。また、データベース活用講座や資料展示を開催したほか、主催事業、外部機関のイベント、視察等で案内・紹介を行った。</li> <li>・国立国会図書館の歴史的音源配信提供サービスについて、情報の探しかた講座を活用した説明会やサービスを利用した映画会を開催した。</li> </ul>									
総合評価 (平成 28 年度～平成 30 年度 成果・課題)	図書館ウェブサイトアクセス数は、平成 28 年度に導入したツイッターやリニューアルオープンに伴う各種利用案内の変更等によりアクセス件数が大幅に増加したため、平成 29 年度及び平成 30 年度の目標値を上方修正した。しかし、その後新たなサービスの導入等増加の要因が少なく、前年度実績値を下回る結果となった。デジタルライブラリーへのアクセス									

## 【重点目標2 重点取組評価シート】

平成30年度末

	<p>件数も平成29年度は前年度比9.5%増であったが、平成30年度はウェブサイトの変更もあり前年度比29.9%と大幅減となった。一方、データベースの利用件数は、ビジネス関連講座でのPRや浦和分室での新規導入等が功を奏し、3年間増加傾向である。満足度は、平成28、29年度ともに変化はなく、「満足」「やや満足」が66.6%、66.7%と高い結果は得られていない。</p> <p>次年度以降は、図書館システムの更新に伴う埼玉関係データベースのウェブ公開やデジタル画像のウェブOPAC検索機能追加等新たなウェブサービスの導入による成果に期待するとともに、デジタル化計画の推進とデータベースの整備を継続して実施することが重要である。</p>		
参考指標（事業統計）	28年度末	29年度末	30年度末
指標1	図書館ウェブサイトアクセス数（トップページ、検索画面、横断検索画面）		
実績値	343,332件、906,991件、762,986件	334,542件、857,548件、717,812件	320,123件、562,842件、477,127件
指標2	データベース利用件数（オンライン、パッケージ、オリジナルの合計）		
実績値	2,811件(2,320、246、245)	3,098件(2,720、196、182)	3,152件(2,750、227、175)
指標3	デジタルライブラリーアクセス件数		
実績値	6,828件	7,475件	5,243件
参考指標（満足度）	利用者ウェブアンケート		
実績値	66.7%が「満足」「やや満足」	66.6%が「満足」「やや満足」	未実施（システム更新のため）

### 参考（丸囲み数字は行動計画 No.）

重点取組に対応する行動計画	○：計画 ●：実施 →：継続	H28	H29	H30
⑩【地域・行政資料等のデジタル化の推進】		○	○	●
・ 埼玉資料等の特色ある資料群のデジタル化計画を策定する。		(検討・作成)	(策定)	
⑪【埼玉関係データベースの整備と公開方法の検討】		●	→	→
・ 埼玉関係雑誌記事索引データ、埼玉関係人物文献索引データの入力を継続するとともに、データの校正作業を開始し、公開方法について検討・実施する。		(公開○)	(公開○)	(公開●)
⑫【埼玉県に関する貴重な映像・音声資料の保存・利用の推進】		○	○	●
・ 所蔵する埼玉県関係映像・音声資料のデジタル化計画を策定する。		(検討・作成)	(策定)	
⑬【データベースの利用促進】		○●	→	→
・ 「利用可能データベース案内」などの広報資料の発行や、データベース操作講習会等の実施により導入データベースの利用促進を図るとともに、データベースの充実に努める。				